【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【公開番号】特開2016-193729(P2016-193729A)
【公開日】平成28年11月17日(2016.11.17)
【年通号数】公開・登録公報2016-064
【出願番号】特願2016-153994(P2016-153994)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｎ　2/44　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　21/207　(2006.01)
Ｂ６０Ｎ　2/427　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｎ　2/44
Ｂ６０Ｒ　21/207
Ｂ６０Ｎ　2/427

【手続補正書】
【提出日】平成28年11月1日(2016.11.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エアバッグモジュール装備シートのトリムカバーの破断部に一端部が取り付けられる力布に接続されるクリップ部材であって、
シートフレームの端部に取り付けられるシートフレーム側溝部と、取付部材を介して前記力布の他端部が取り付けられる取付部材側溝部と、が形成されていることを特徴とするクリップ部材。
【請求項２】
前記取付部材側溝部は、シート幅方向外側に開口していることを特徴とする請求項１に記載のクリップ部材。
【請求項３】
前記取付部材側溝部は、前記シートフレーム側溝部とは逆側に開口しており、
前記シートフレーム側溝部が開口する方向は、前記取付部材から前記破断部に延在する前記力布の少なくとも一部の延在方向と同一の方向であることを特徴とする請求項１又は２に記載のクリップ部材。
【請求項４】
前記力布の他端部は、前記シートフレームの外側から回り込んで、前記取付部材側溝部に取り付けられていることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか一項に記載のクリップ部材。
【請求項５】
前記取付部材側溝部は、前記シートフレームの一部の構成であるサイドフレームにおけるシート幅方向外側の端部と内側の端部との間に形成されていることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか一項に記載のクリップ部材。
【請求項６】
前記取付部材側溝部から前記力布の延びる側へ延在するとともに鈍角に屈曲する外面が形成されていることを特徴とする請求項１乃至５のいずれか一項に記載のクリップ部材。

【請求項７】
請求項１乃至６のいずれか一項に記載のクリップ部材と、
前記クリップ部材が取り付けられる端部にフランジが形成されている前記シートフレームと、
前記シートフレームに取り付けられており、エアバッグを格納するエアバッグモジュールと、
前記エアバッグの膨張による応力を前記トリムカバーの前記破断部に伝達する前記力布と、
を備えることを特徴とするエアバッグモジュール装備シート。
【請求項８】
前記力布の他端部は、前記エアバッグモジュールと前記シートフレームとがボルトで接続される部分よりも、シート幅方向の内側に配置されていることを特徴とする請求項７に記載のエアバッグモジュール装備シート。
【請求項９】
前記力布の他端部は、前記シートフレームの前縁部における内端部と、前記シートフレームの後縁部における内端部とを結ぶ線分よりも、シート幅方向の外側に配置されていることを特徴とする請求項７又は８に記載のエアバッグモジュール装備シート。
【請求項１０】
前記クリップ部材は、前記シートフレームの一部の構成であるサイドフレームの端部の内側の面及び外側の面に覆い被さるように取り付けられていることを特徴とする請求項７乃至９のいずれか一項に記載のエアバッグモジュール装備シート。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
また、前記課題は、本発明に係るクリップ部材によれば、エアバッグモジュール装備シートのトリムカバーの破断部に一端部が取り付けられる力布に接続されるクリップ部材であって、シートフレームの端部に取り付けられるシートフレーム側溝部と、取付部材を介して前記力布の他端部が取り付けられる取付部材側溝部と、が形成されていること、により解決される。
このように構成しているため、本発明のクリップ部材を、エアバッグモジュールをサイドフレームに取り付けたシートに適用できる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、力布に取り付けたクリップ部材で力布とシートフレームとを連結するため、エアバッグの膨張展開を阻害せずに高い展開性能を保持しつつ、力布の取付部周辺をコンパクトにすることができる。また、力布とクリップ部材とシートフレームのみにより、力布とシートフレームを連結できるため、構成が単純で、組み付け作業も簡単になる。更に、エアバッグ展開部やエアバッグの形状が変化しても、形状変更等を行うことなく、同じ部品を利用できる。
このとき、前記取付部材側溝部は、シート幅方向外側に開口していると好適である。
また、前記取付部材側溝部は、前記シートフレーム側溝部とは逆側に開口しており、前記シートフレーム側溝部が開口する方向は、前記取付部材から前記破断部に延在する前記力布の少なくとも一部の延在方向と同一の方向であると好適である。

また、前記力布の他端部は、前記シートフレームの外側から回り込んで、前記取付部材側溝部に取り付けられていると好適である。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
このとき、前記取付部材側溝部は、前記シートフレームの一部の構成であるサイドフレームにおけるシート幅方向外側の端部と内側の端部との間に形成されていると好適である。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
また、前記取付部材側溝部から前記力布の延びる側へ延在するとともに鈍角に屈曲する外面が形成されていると好適である。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
前記課題は、本発明に係るエアバッグモジュール装備シートによれば、前記クリップ部材と、前記クリップ部材が取り付けられる端部にフランジが形成されている前記シートフレームと、前記シートフレームに取り付けられており、エアバッグを格納するエアバッグモジュールと、前記エアバッグの膨張による応力を前記トリムカバーの前記破断部に伝達する前記力布と、を備えること、により解決される。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１５】
このとき、前記力布の他端部は、前記エアバッグモジュールと前記シートフレームとがボルトで接続される部分よりも、シート幅方向の内側に配置されていると好ましい。
また、前記力布の他端部は、前記シートフレームの前縁部における内端部と、前記シートフレームの後縁部における内端部とを結ぶ線分よりも、シート幅方向の外側に配置されていると好適である。
また、前記クリップ部材は、前記シートフレームの一部の構成であるサイドフレームの端部の内側の面及び外側の面に覆い被さるように取り付けられていると好ましい。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本発明によれば、力布に取り付けたクリップ部材で力布とシートフレームとを連結するため、エアバッグの膨張展開を阻害せずに高い展開性能を保持しつつ、力布の取付部周辺をコンパクトにすることができる。
また、力布とクリップ部材とシートフレームのみにより、力布とシートフレームを連結できるため、構成が単純で、組み付け作業も簡単になる。更に、エアバッグ展開部やエアバッグの形状が変化しても、形状変更等を行うことなく、同じ部品を利用できる。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】削除
【補正の内容】